

■ 株主メモ

事業年度	毎年11月1日から翌年10月31日まで
定時株主総会	1月中
基準日	
定時株主総会 期末配当金	10月31日
中間配当金	4月30日
公告方法	電子公告とし、当社ホームページに掲載いたします。 ただし、電子公告によることができない事故その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に掲載いたします。 公告掲載URL：http://www.hi-lex.co.jp/
株主名簿管理人及び 特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
株主名簿管理人 事務取扱場所	大阪市中央区北浜四丁目5番33号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
郵便物送付先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部
(電話照会先)	電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 受付時間 9:00~17:00 (土日休日除く) 取次事務は三井住友信託銀行株式会社の 本店及び全国各支店で行っております。
・住所変更、単元未満株式の買取のお申出先について	株主様の口座のある証券会社にお申出ください。なお、証券会社に 口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の 口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
・未払配当金の支払について	株主名簿管理人である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。
(各種手続のご案内)	URL https://www.smtb.jp/personal/procedure/agency/
上場取引所	東京証券取引所 スタANDARD市場
単元株式数	100株

ホームページのご案内

当社のホームページでは、IR情報をはじめとして、各種情報を公開しておりますのでご覧ください。



<http://www.hi-lex.co.jp/>

HI-LEX 株式会社ハイレックスコーポレーション

〒665-0845 兵庫県宝塚市栄町一丁目12番28号
TEL 0797-85-2500 (代)
URL <http://www.hi-lex.co.jp/>



HI-LEX

株主通信 | 第79期報告書
2021年11月1日から2022年10月31日まで

株式会社ハイレックスコーポレーション

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。当社グループの第79期事業年度（2021年11月1日から2022年10月31日まで）が終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、今後ともより一層のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

2023年1月

代表取締役社長
寺浦 太郎



Q 当期の業績について

A 新型コロナウイルス感染症の影響から回復基調にあるものの、資源・素材の高騰などにより減産となりました

当連結会計年度における世界経済は、米中間の通商問題を巡る緊張、エネルギー資源の高騰、新型コロナウイルス感染症の影響及び世界的な半導体供給不足の長期化懸念等、先行きが不透明な状況で推移いたしました。また、ロシアによるウクライナ侵攻により、先行きの成長下振れとインフレへの懸念が強まっております。自動車業界におきましては、日本国内の自動車生産台数は前年同期比6.1%減の763万台、米国では前年同期比5.3%増の990万台、中国では前年同期比3.7%増の2,745万台となりました。

当連結会計年度の経営成績は、主に半導体供給不足による各国自動車メーカーの減産及び欧州で予定していた新規受注案件の量産立ち上げが遅れたことによる影響はあったものの、北米、アジア及び欧州を中心に顧客への販売が前年比で伸長し、また円

安による邦貨換算額の増加影響もあり、売上高は2,556億1千6百万円（前年同期比378億6千2百万円増、17.4%増）となりました。

このような状況のなか、当社グループでは、従業員及び関係者の健康と安全を最優先事項とし、時差出勤やリモートワーク等の実施による同感染症防止策を徹底しつつ、生産性の向上や経費削減といった合理化による収益の確保に全社を挙げて努めてまいりました。しかし、資源・素材の高騰に伴い材料コストが上昇したこと、半導体供給不足による調達コストの急増等の影響により、営業損益は48億5千6百万円の営業損失（前年同期は6億8千5百万円の営業利益）となりました。

経常損益は、主に受取配当金、為替差益、受取利息並びに助成金収入等を収益に計上した一方で、支払利息及び持分法による投資損失等を費用に計上したことにより、24億7千4百万円の経常損失（前年同期は30億3千2百万円の経常利益）となりました。親会社株主に帰属する当期純損益は、主に特別利益において投資有価証券売却益、貸倒引当金戻入額を計上し、特別損失で減損損失、退職特別加算金及び関係会社株式評価損を計上したことから、71億2千百万円の親会社株主に帰属する当期純損失（前年同期は48億9千6百万円の親会社株主に帰属する当期純利益）となりました。

事業紹介



自動車分野

コントロールケーブル、ウインドレギュレータといった当社の主力製品は、高い耐久性や信頼性、コンパクトな構造など優れた特長があり、自動車の機能部品として採用されております。



船舶・ボート分野

当社の船舶用コントロール・ボックスは耐久性、耐蝕性にも優れ、レジャーボートや漁船分野では60%のシェアを確保しております。また、ジェットボートや高速艇などの分野にも進出しております。



建設機器・産業機器分野

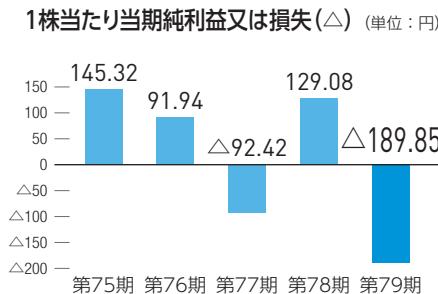
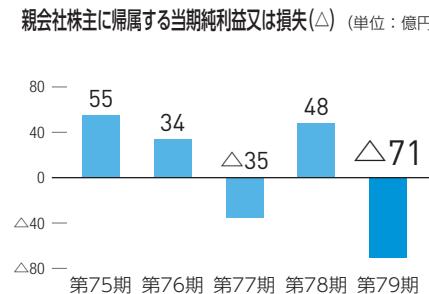
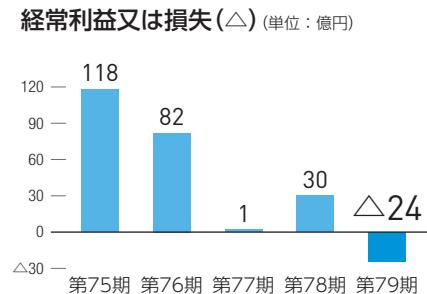
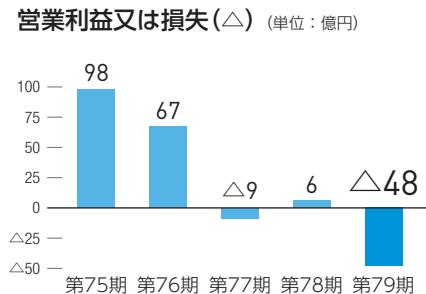
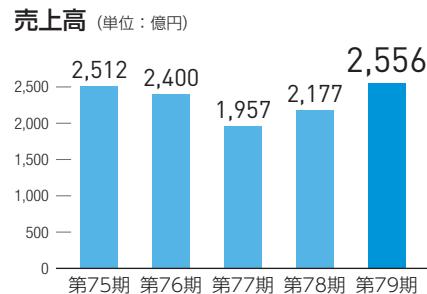
当社では、アクセルアクチュエータを利用し、作業モードと低燃費モードを調整することで、エネルギーロスを抑えたコントロールケーブルシステムを建設機械用に提供しております。



福祉・住宅関連分野

ユーザー様、お客様の幸せな暮らしを少しでもサポートするために、当社独自の技術を駆使し、福祉・住宅関連の商品を提供しております。

連結財務ハイライト



第80期 連結業績予想

売上高 2,880億円
 営業利益 52億円
 経常利益 66億円
 親会社株主に帰属する当期純利益 36億円
 1株当たり当期純利益 ... 95円96銭

Q 各セグメント別業績について

A 新型コロナウイルスの感染再拡大及び世界的な半導体供給不足の影響等により北米・欧州等総じて減益となりました

各地域別での世界経済は、同感染症による深刻な影響が緩和されるなかで持ち直しの動きがみられるものの、新たな変異ウイルスによる感染状況の動向や、世界的な資源価格の上昇による景気不振リスク等、依然として予断を許さない状況となっております。欧州・北米等総じてセグメント全般においては、原価低減と生産性改善に取り組んだものの、生産及び販売台数の減少並びに半導体の供給不足、鋼材・樹脂材等の価格上昇に伴うコスト高、輸送コストの上昇、賃金上昇による労務費増加等の影響により減益となりました。

Q 当期の配当について

A 期末配当金は1株当たり17円00銭とさせていただきます

当社は、利益配分につきましては、株主の皆様にとっての収益性と今後の収益予想や将来の事業展開等を考慮し、長期的な安定配当を維持していくことを基本方針としております。

当期の配当については、企業体質の強化と今後の事業展開を勘案し、環境変化等に応じた内部留保レベル及び連結での配当性向にも意を用い、さらに同感染症の影響や当社を取り巻く事業環境等を勘案した結果、1株当たり17円00銭とし、中間配当金と合わせて通期では34円00銭とさせていただきます。

トピックス

マイクロカテーテル新製品 薬事承認・全国販売

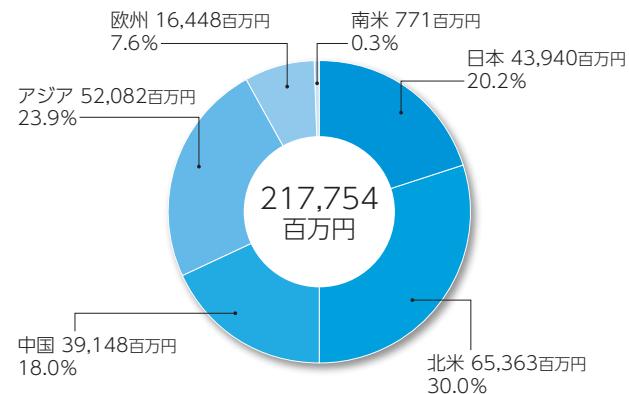
マイクロカテーテルは、がん治療の選択肢の一つである動脈塞栓術（兵糧攻め）や、脳出血治療における血管塞栓などにおいて中心的な役割を果たす医療機器であり、当社医療事業における柱の一つです。

当期、コーティングの技術開発とシャフトの最適化設計によりカテーテル基本性能であります到達性と操作性を飛躍的に向上させたマイクロカテーテルが薬事承認されました（販売名「HLマイクロカテーテル3」、承認番号30400BZX00041000）。

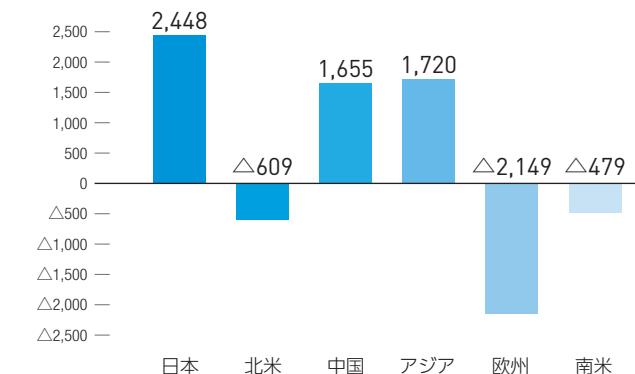
当社独自製品であります「Wi-Fiマイクロカテーテル」（第74期株主通信に掲載）に適用、販売（国内2022年11月、海外2023年9月予定）を皮切りに、当該新技術により性能を向上させたマイクロカテーテルの新製品を2023年度に順次販売する予定であり、医師の皆様がより使いやすい製品を供給し、患者様の負担軽減に貢献してまいります。

前連結会計年度 (2020年11月1日から2021年10月31日まで)

売上高



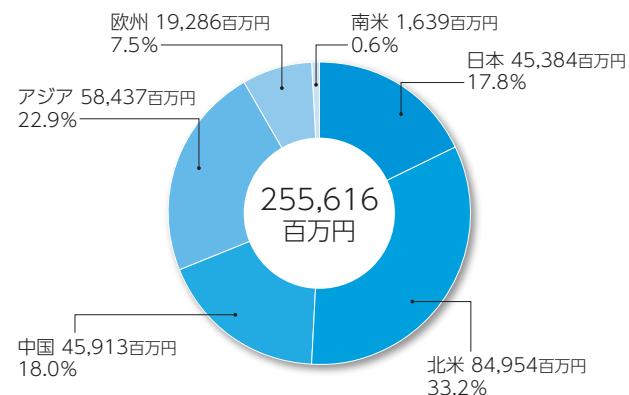
セグメント利益又は損失(△) (単位：百万円)



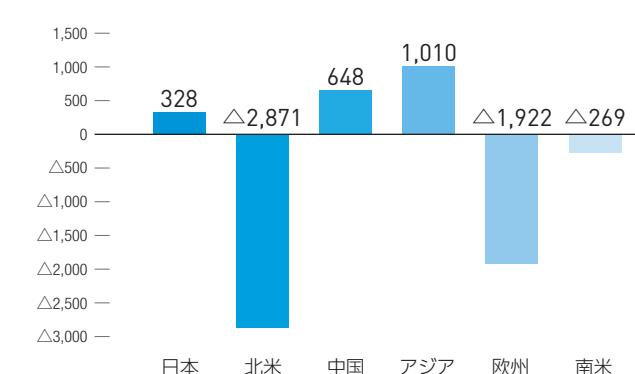
注) 各セグメント利益又は損失の合計額と連結損益計算書の営業利益との差額の主な内容は、全社費用及びセグメント間取引の調整であります。

当連結会計年度 (2021年11月1日から2022年10月31日まで)

売上高



セグメント利益又は損失(△) (単位：百万円)



注) 各セグメント利益又は損失の合計額と連結損益計算書の営業損失との差額の主な内容は、全社費用及びセグメント間取引の調整であります。

“世界最高水準の技術と製品を全世界へお届けするために”、 グローバルネットワークを構築し、現地生産体制を推進しています。

ユーザーの近くで最高水準の製品を提供するために――。

私たちは積極的な海外展開を図り、現地における生産体制の拡充を推進してきました。

アメリカ、メキシコ、ブラジル、ドイツ、イタリア、スペイン、ハンガリー、ロシア、中国、韓国、インド、インドネシア、ベトナム、タイ、チェコ、セルビアの世界16ヶ国に拠点を展開しております。

最高水準の技術を提供するグローバルネットワークを活用して世界ブランド「HI-LEX」「TSK」をさらに大きく育ててまいります。

(2023年1月現在)



HI-LEX CONTROLS INC.
LITCHFIELD PLANT (U.S.A.)



HI-LEX CONTROLS INC.
HUDSON PLANT (U.S.A.)



DAEDONG HI-LEX OF
AMERICA INC. (U.S.A.)



HI-LEX AMERICA INC. (U.S.A.)
HI-LEX AUTOMOTIVE CENTER
(U.S.A.)



HI-LEX MEXICANA, S.A. DE C.V.
(MEXICO)



重慶海徳世控制拉索系統有限公司
(CHINA)



長春海徳世汽車拉索有限公司
(CHINA)



広東海徳世拉索系統有限公司
(CHINA)
広州利時徳控制拉索有限公司
(CHINA)



本社 (JAPAN)

国内グループ11社

- 出石ケーブル(株)
- (株)ハイレックス埼玉
- (株)ハイレックス島根
- (株)ハイレックス関東
- (株)サンメディカル技術研究所
- 但馬ティエスケイ(株)
- (株)ハイレックス宮城
- (株)ハイレックスメディカル
- (株)EVIジャパン
- 丹波ケーブル(株)
- 京丹TSK(株)



HI-LEX DO BRASIL LTDA.
(BRAZIL)



HI-LEX HUNGARY CABLE
SYSTEM MANUFACTURING LLC
(HUNGARY)
HI-LEX RUS LLC (RUSSIA)
HI-LEX EUROPE GMBH
(GERMANY)



HI-LEX ITALY S.P.A. (ITALY)



HI-LEX AUTO PARTS SPAIN, S.L.
(SPAIN)



HI-LEX CZECH, S.R.O.
(CZECHIA)



煙台利時徳拉索系統有限公司
(CHINA)
杭州海徳世拉索系統有限公司
(CHINA)
天津海徳世拉索系統有限公司
(CHINA)



江蘇大同海徳世車門系統有限公司
(CHINA)
江蘇大同多沃汽車配件有限公司
(CHINA)



HI-LEX INDIA PRIVATE LTD.
(INDIA)



HI-LEX SERBIA D.O.O. (SERBIA)



韓国TSK株式会社 (KOREA)



大同ハイレックス株式会社
(KOREA)
大同ドア株式会社 (KOREA)



株式会社大同システム (KOREA)



重慶海徳世拉索系統集團有限公司
(CHINA)



PT. HI-LEX INDONESIA
(INDONESIA)



PT. HI-LEX PARTS INDONESIA
(INDONESIA)
PT. HI-LEX CIREBON
(INDONESIA)



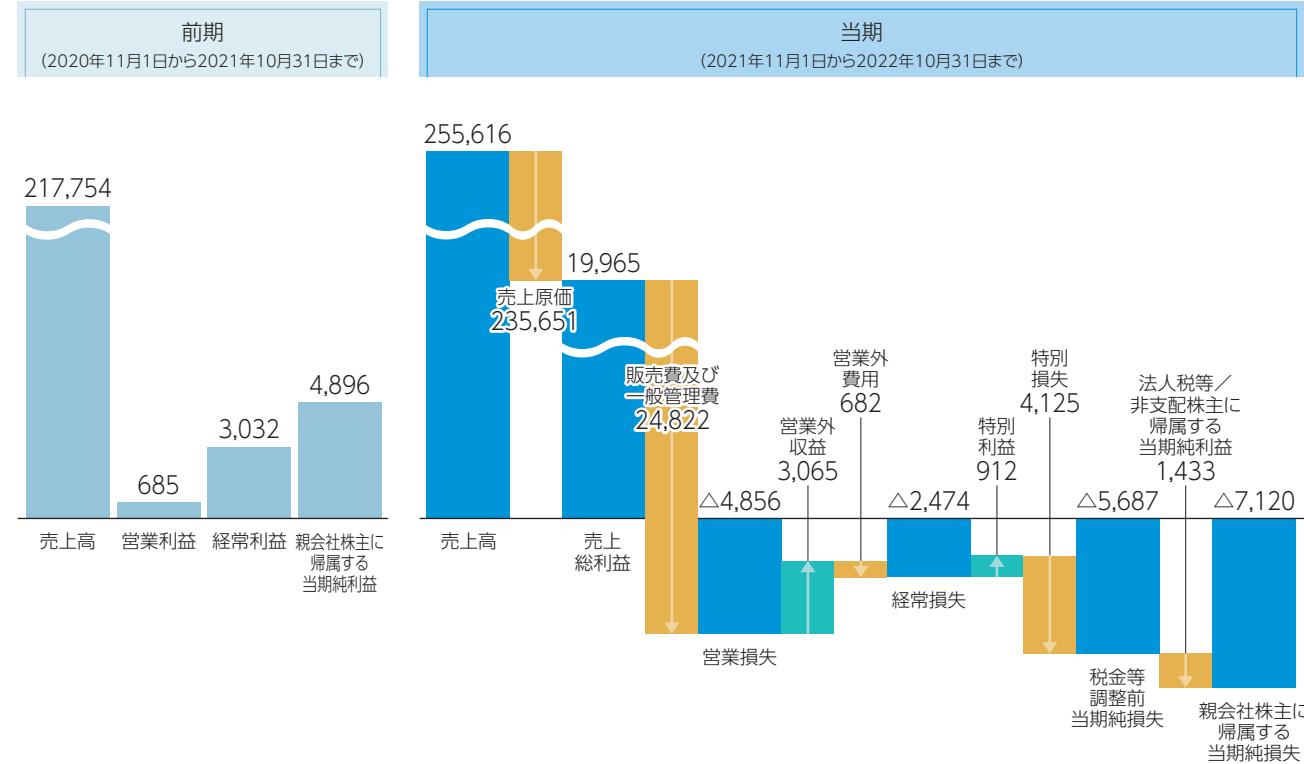
HI-LEX VIETNAM CO., LTD.
(VIETNAM)



THAI STEEL CABLE PUBLIC
COMPANY LIMITED
(THAILAND)

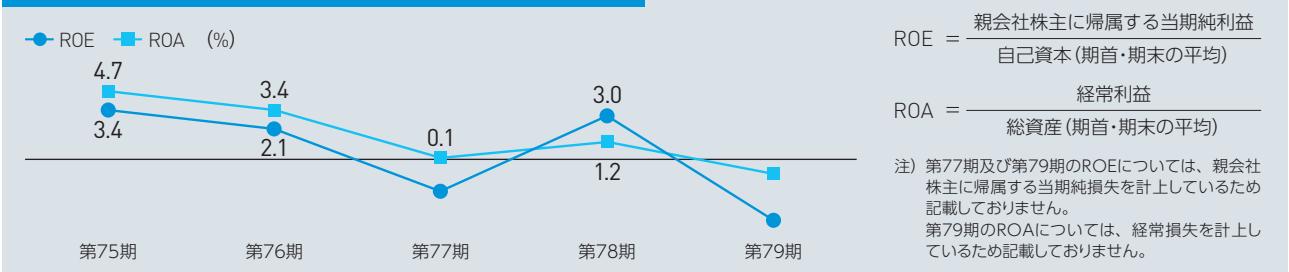


連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

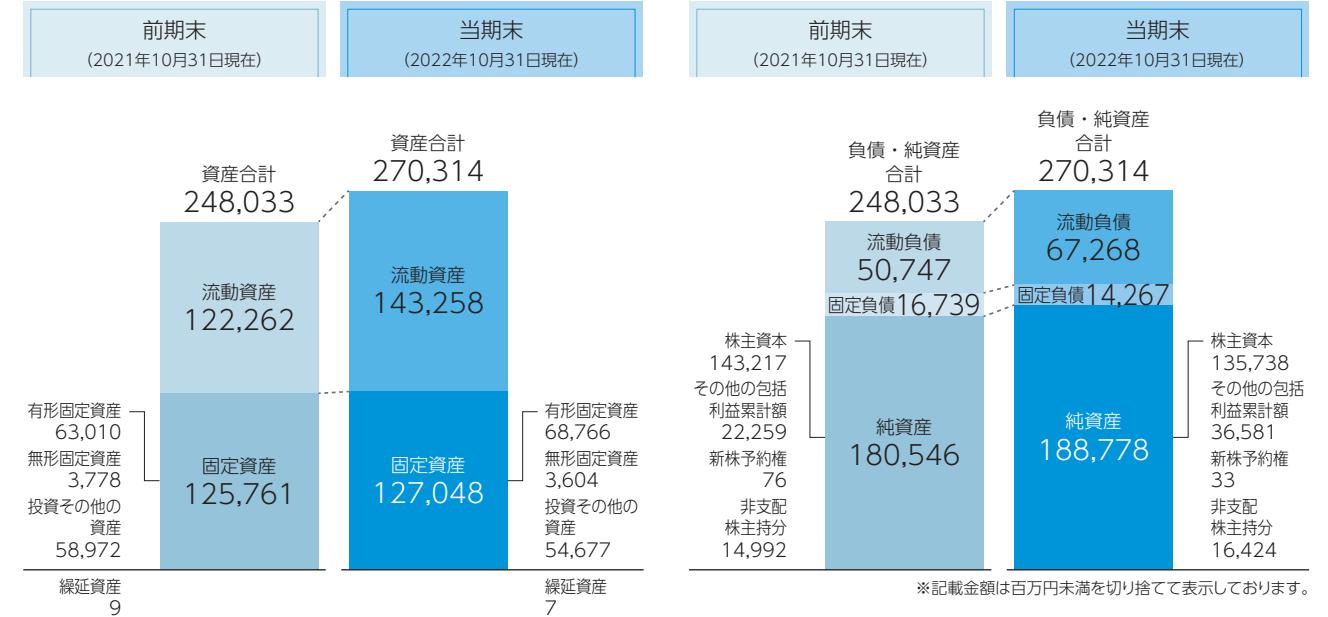


※記載金額は百万円未満を切り捨てて表示しております。

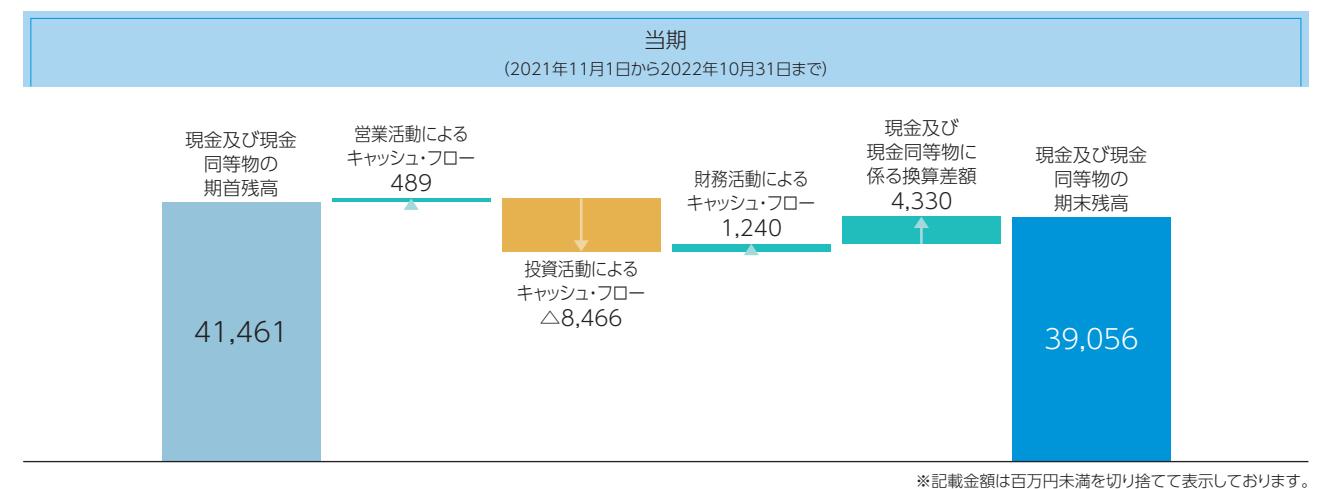
ROE (自己資本利益率)・ROA (総資産利益率) の推移



連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



■ 事業所

(2023年1月現在)

国内

医療機器事業部、三田工場、三田西工場、
柏原工場、三ヶ日工場（浜松営業所）、
宇都宮技術センター（宇都宮営業所）、
東京営業所、名古屋営業所、広島営業所

海外

アメリカ、メキシコ、ブラジル、
ドイツ、イタリア、スペイン、
ハンガリー、ロシア、中国、韓国、
インド、インドネシア、ベトナム、タイ、
チェコ、セルビア

■ 連結子会社等

(2023年1月現在)

出石ケーブル株式会社
株式会社ハイレックス島根
株式会社ハイレックス埼玉
株式会社ハイレックス関東
株式会社サンメディカル技術研究所
但馬ティエスケイ株式会社
株式会社ハイレックス宮城
株式会社ハイレックスメディカル
TSK of AMERICA INC.
HI-LEX AMERICA INC.
HI-LEX CONTROLS INC.
DAEDONG HI-LEX OF AMERICA INC.
HI-LEX MEXICANA,S.A.DE C.V.
HI-LEX HUNGARY CABLE SYSTEM MANUFACTURING LLC
HI-LEX RUS LLC
HI-LEX EUROPE GMBH
HI-LEX ITALY S.P.A.
HI-LEX AUTO PARTS SPAIN,S.L.
HI-LEX CZECH, S.R.O.
HI-LEX SERBIA D.O.O.

韓国TSK株式会社
大同ハイレックス株式会社
大同ドア株式会社
重慶海德世拉索系統集团有限公司
重慶海德世控制拉索系統有限公司
長春海德世汽車拉索有限公司
広東海德世拉索系統有限公司
広州利時徳控制拉索系統有限公司
杭州海德世拉索系統有限公司
煙台利時徳拉索系統有限公司
江蘇大同海徳世車門系統有限公司
江蘇大同多沃汽車配件有限公司
海徳世汽車部件(瀋陽)有限公司
天津海徳世拉索系統有限公司
HI-LEX INDIA PRIVATE LTD.
PT. HI-LEX INDONESIA
PT. HI-LEX PARTS INDONESIA
PT. HI-LEX CIREBON
HI-LEX VIETNAM CO.,LTD.
HI-LEX DO BRASIL LTDA.
HI-LEX DOOR INDIA PRIVATE LIMITED.

■ 会社の概要

(2022年10月31日現在)

商号 株式会社ハイレックスコーポレーション
設立 1946年11月
資本金 56億5,705万6,150円
代表 代表取締役社長 寺浦 太郎
従業員数 971名
(従業員数には、出向者は含んでおりません。)

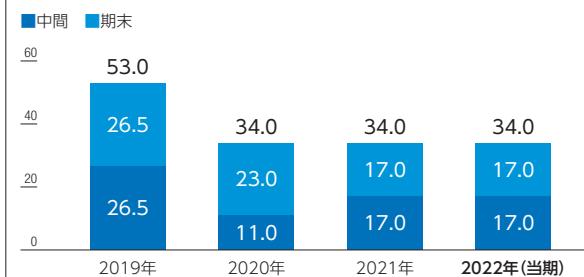
■ 役員

(2022年10月31日現在)

代表取締役社長 寺 浦 太 郎
取締役 正 木 靖 子
取締役 加 藤 徹
取締役 赤 西 芳 文
取締役 吉 川 博 巳
常勤監査役 松 本 耕 一
監査役 小 林 佐 敏
監査役 太 田 克 実
監査役 上 田 隆 司

取締役 正木靖子、取締役 加藤徹、取締役 赤西芳文及び取締役 吉川博巳の4氏は社外取締役であります。
監査役 小林佐敏、監査役 太田克実及び監査役 上田隆司の3氏は社外監査役であります。
当社は取締役 正木靖子、取締役 加藤徹、取締役 赤西芳文、取締役 吉川博巳、監査役 小林佐敏、監査役 太田克実及び監査役 上田隆司の7氏を東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。

配当金の推移 (単位：円)



■ 株式の状況

(2022年10月31日現在)

発行可能株式総数 80,000,000株
発行済株式の総数 38,216,759株
(自己株式671,130株を含む)

株主数 3,995名

大株主（上位10名）

株主名	持株数 (千株)	持株比率 (%)
寺浦興産株式会社	9,745	25.95
公益財団法人寺浦奨学会	1,554	4.13
ビービーエイチ フォー ファイデリティ ロー プライズ ストック ファンド (プリンシパル オール セクター サポートフォリオ)	1,350	3.59
日本生命保険相互会社	1,259	3.35
西川ゴム工業株式会社	1,034	2.75
本田技研工業株式会社	850	2.26
ビーエヌワイエム アズ エージェンティ クライアンス 10 パーセント	838	2.23
株式会社アルファ	806	2.14
株式会社三菱UFJ銀行	739	1.97
ハイレックス企業持株会	700	1.86

(注) 持株比率は自己株式 (671,130株) を控除して計算しております。

分布状況

